

OpenStandia™ クラウドサポート

クラウド環境での、ソフトウェアコストを削減します。

クラウド環境向け
 オープンソース
 サポートサービス

クラウド環境では、ソフトウェアコストが課題に

オープンソースと異なる多くの商用ソフトウェアは、クラウド環境に適合した価格体系をとっていないため、以下のようなケースでは、高コストになる場合があります。

Case1

仮想サーバ単位の課金の場合

Case2

物理サーバ単位の課金の場合

Case3

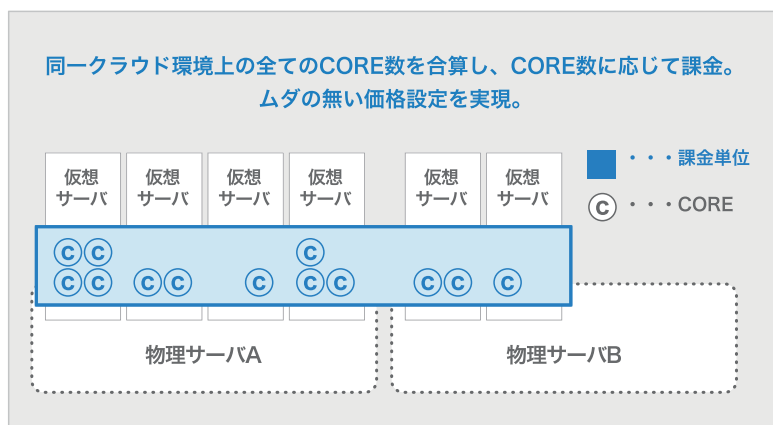
顧客単位、サブシステム単位の課金の場合

高コストケース
 詳細は裏面にて

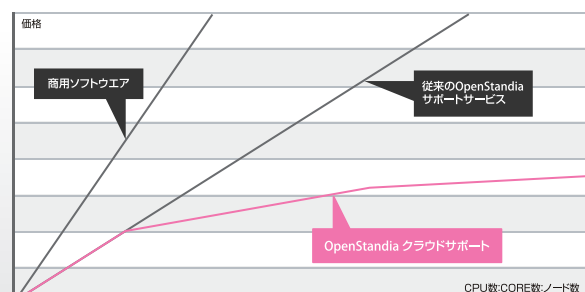
NRIでは、このような課題を解決するため、クラウド環境に適したオープンソースのサポートサービスメニューを提供します。

クラウド環境に適した、オープンソースのサポートサービスメニューを提供

- 実際に利用しているCORE数によって課金。
- クラウド環境上に複数のシステムが稼働する場合であっても、クラウド環境全体のCORE数を合算して、価格を算出。



利用するCORE数が多いクラウド環境においては、ボリュームディスカウントを適用。



約 **60%** のコスト削減が可能！

「OpenStandiaクラウドサポート」をご利用いただくことにより、商用製品と比較して大幅なコスト削減を実現します。

従来、OpenStandiaで提供していたサポートサービスの料金と比較しても、約**60%のコスト削減が可能です**(512CORE利用時)。

クラウド環境における高コストケースとは？

つづきは
裏面を！

株式会社野村総合研究所 オープンソースソリューション推進室

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134

TEL : 045-335-9538 http://openstandia.jp E-mail : ossc@nri.co.jp



おかげさまで、NRIのOpenStandiaは、2006年のサービス開始から2011年までの5年間で契約数累計が1,000件を突破いたしました！

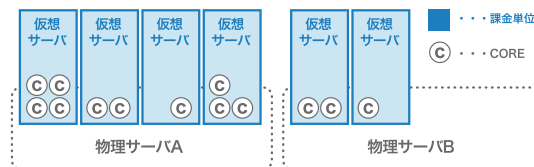
野村総合研究所の OpenStandiaTM が クラウド環境でのソフトウェアコストを削減します！

以下のようなケースでは、高コストになる場合があります。

Case1

仮想サーバ単位の課金の場合

クラウド環境では、従来の手法と比較し仮想サーバの数が多くなることが一般的です。仮想サーバ単位の課金の場合、ソフトウェアのライセンス料は仮想サーバの数に比例するため、クラウド環境では高額になってしまいます。

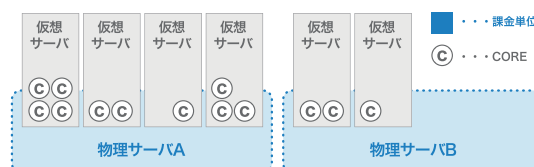


- 仮想サーバの単位で課金される。
- COREを多く使っている仮想サーバAも、COREが少ない仮想サーバBも同じ価格。

Case2

物理サーバ単位の課金の場合

物理サーバに搭載されるCPU数やCORE数によって課金される場合、実際にCPUやCOREを使っているかどうかにかかわらず、課金されてしまいます。

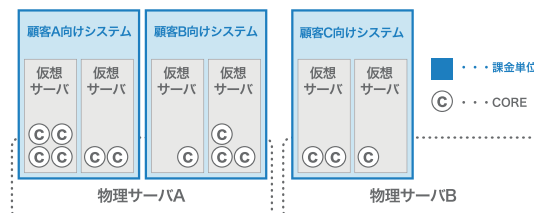


- 物理サーバ単位で課金される。
- COREを多く使っている物理サーバAも、COREが少ない物理サーバBも同じ価格。

Case3

顧客単位、サブシステム単位の課金の場合

CORE数による課金であっても、購入単位が16COREや32COREである場合、複数の顧客やサブシステムにまたがってCORE数を合算できないケースがあります。このような場合、実際には合計16CORE以下しか使用していなくても、16CORE×顧客数・サブシステム数分の購入が必要になります。



- CORE数による課金だが、最低単位(例えば16CORE)を顧客やサブシステムにまたがって共有できない。
- 顧客A向けシステムと顧客B向けシステムとで、16CORE×2セットが必要。

価格体系 | 年間サポート費用(税別)

CORE数	Apache	Tomcat	JBossAS	単位
1~16CORE	450,000円	250,000円	600,000円	
17~32CORE	900,000円	450,000円	1,200,000円	
33~48CORE	1,350,000円	700,000円	1,800,000円	
49~128CORE	15,000円	8,000円	20,000円	1COREあたり
129~256CORE	11,000円	6,000円	15,000円	1COREあたり
257CORE以上	7,500円	4,000円	10,000円	1COREあたり

Apache、Tomcat、JBossASに対するサポートサービス価格は、以下のとおりです。また、他のオープンソース・ソフトウェアについては個別見積もりとなります。

NRIは、今後もオープンソース・ワンストップサービス「OpenStandia」を通じて、企業の情報システムにおけるオープンソースの活用を推進していきます。

(※1) CPU ... コンピュータを構成する部品の一つで、記憶装置や入力装置からデータを読み取り、演算処理を行った上で、記憶装置や出力装置に出力する。

(※2) CORE ... CPUの中心部分であり、実際に演算処理を行うところ。近年の高性能CPUでは、1つのCPUに複数のCOREを搭載するものが多い。